《第6号議案》

「図書館と県民のつどい埼玉 2026」の開催(案)について

１　「図書館と県民のつどい埼玉」（以下「つどい」）検討委員会での検討結果について

（１）「つどい」検討委員会について

ア　委員構成

・主催４団体（埼玉県図書館協会・埼玉県学校図書館協議会・埼玉県高等学校図書館研究会・埼玉県教育委員会）

・「つどい」企画委員会：ビブリオバトル実行委員会・公共図書館部会・高校図書館部会・こども読書活動交流集会

・市町村立図書館、埼玉県大学・短期大学図書館協議会

イ　会議日程及び概要

・第１回：①「つどい」検討委員会の設置について、②主催団体等対象アンケート調査について、③検討の進め方について　等

・第２回：①主催団体等対象アンケート調査の結果について　等

・第３回：①「つどい」2025 開催結果について、②「つどい」検討委員会案に対する意見について、③「つどい」2026 について　等

（２）「つどい」検討委員会　検討結果について

ア　ターゲット：展示等のターゲットは現状のまま、児童生徒の不読率改善を意識して実施。

イ　組織：各主催団体等から当日運営スタッフを選出、市町村立図書館職員に「つどい」について説明、企画委員は共同展示等を検討。

ウ　会場：桶川市・県東部・県西部で実施、令和８年度は桶川市・令和９年度は早急に検討。

エ　予算：予算を縮減、講演料・広報費を削減

オ　記念講演：毎年度実施、作家にとらわれず研究者（大学教授）等幅広く人選。

カ　中学生のビブリオバトル：「つどい」と同時に開催、埼玉県学校図書館協議会が中心となり運営、当日司会進行を大学生ボランティアに要請

キ　こども読書活動交流集会：「つどい」と同時に開催、予算面で支援。

２　「図書館と県民のつどい埼玉 2026」開催要項（案）について：資料６－１のとおり

資料６－１

「図書館と県民のつどい埼玉 2026」開催要項（案）

― みんなが「図書館」でつながる日 ―

１　趣　　旨

（１）県内図書館の様々な活動を県民に紹介することで、図書館に対する県民の理解を深め、親しみを持ってもらう。

（２）県民との交流を通じて、より良い図書館サービスを考える契機とする。

（３）県内の子供読書活動に携わる方々や、公共図書館・大学図書館・高校図書館等の協働により実施することで、図書館に関わる連携を深める。

（４）不読率の改善につながるよう、県内図書館の魅力発信を通じて県民の読書活動の推進を図る。

（５）県民の読書環境がより豊かなものとなるよう、書店・出版社・新聞社など文字・活字文化を支える団体と図書館との連携を図る。

２　日時・会場

令和８年１２月６日（日）　午前１０時～午後４時

桶川市民ホール・さいたま文学館

３　内　　容

（１）記念講演

（２）こども読書活動交流集会

（３）中学生のビブリオバトル

（４）展示等

（５）その他

４　主　　催

埼玉県図書館協会、埼玉県教育委員会、埼玉県学校図書館協議会、

埼玉県高等学校図書館研究会

５　共　　催

さいたま文学館

６　後　　援（予定）

桶川市、桶川市教育委員会、ＮＨＫさいたま放送局、ＦＭ　ＮＡＣＫ５、
テレ玉、公益財団法人日本教育公務員弘済会埼玉支部、
埼玉県大学・短期大学図書館協議会（ＳＡＬＡ）、埼玉県書店商業組合、
一般財団法人出版文化産業振興財団（ＪＰＩＣ）、
公益財団法人文字・活字文化推進機構

７　協　　力（予定）

公益財団法人日本教育公務員弘済会埼玉支部助成事業、
埼玉県芸術文化祭２０２６協賛事業

８　協　　賛（予定）

株式会社伊藤伊、キハラ株式会社、埼玉新聞社、社会福祉法人埼玉福祉会、
一般社団法人ＹＡ出版会、株式会社ポプラ社